

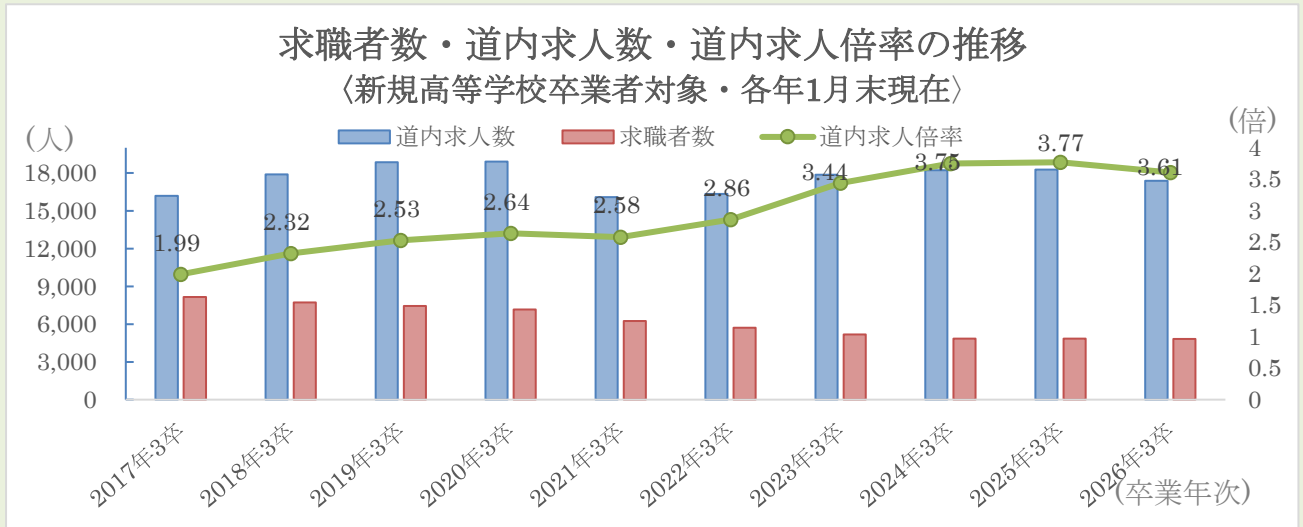
新規高等学校卒業者の職業紹介状況

(2026年3月新規卒業生対象・1月末現在)

北海道建設業の中・長期的な担い手の確保を考える際、その動向を注視すべき重要なデータの一つに新規高卒者の就職内定者数があります。今回、北海道労働局が発表した道内の2026年3月新規高等学校卒業者の職業紹介状況（2026年1月末現在）を基に、以下のとおり分析しました。

【新規高等学校卒業者の職業紹介状況の年度別推移】

道内求職者数は前年同月比34名減の4,815名。道内求人数は前年同月比904名減の17,373名。前年同月と比較して求職者・求人数は共に落ち込んだものの、求人倍率は3.61と高い数値をキープしており、高卒者を対象とした採用ニーズは依然として高いことがわかります。



【2026年3月新規高等学校卒業生 道内求人・就職内定・道内求人充足状況】

建設業の道内求人数は前年同月比0.8%増の4,228名、就職内定者数は前年同月比8.1%減の510名、道内求人充足率は前年同月比1.1%減の12.1%となっています。建設業の求人数は他産業と比較しても突出して多く、反対に求人充足率は、全産業中で最も低い値を示している状態です。この数値からも担い手不足が深刻化している建設業の現状が読み取れます。

